



神奈川県高齢者福祉施設協議会

# 事故防止研修③ ～再発防止に向けて～

育生会研修センター センター長  
(株) 安全な介護 専任講師  
川村 亜希

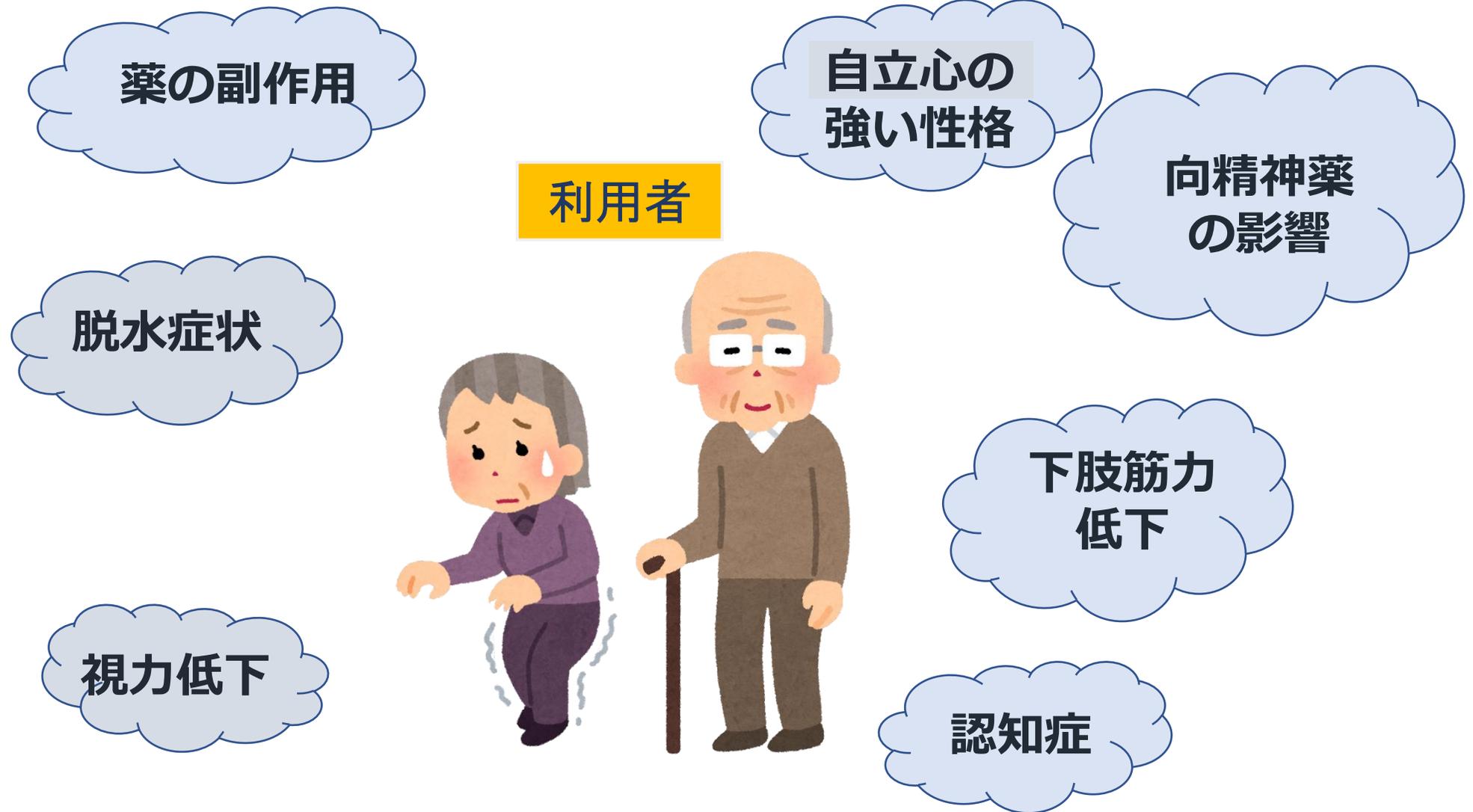
## 再発防止にむけて

- 1, 事故の原因分析の考え方
- 2, 再発防止策の考え方

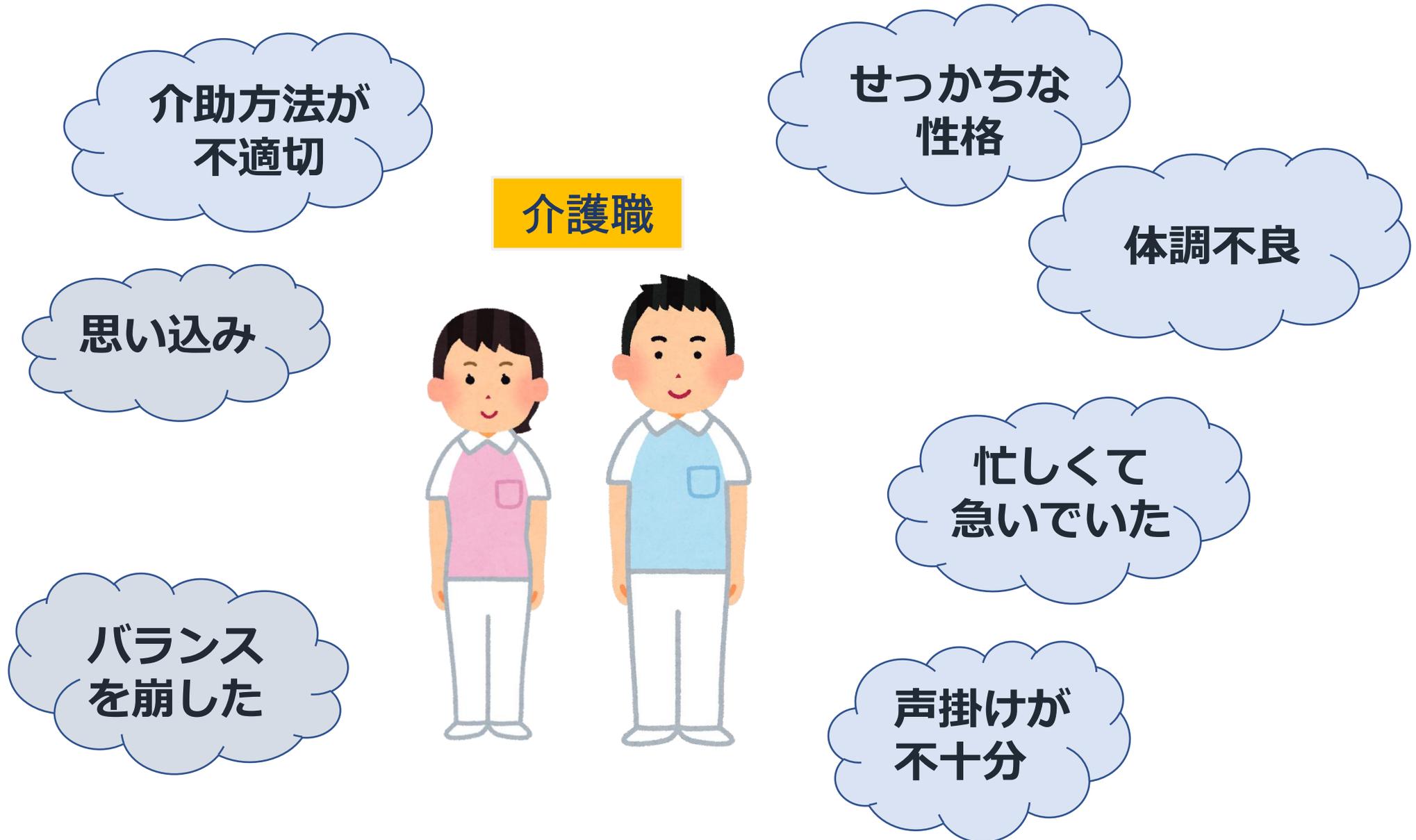


# 事故の原因分析の考え方

# 事故は複数の原因が絡み合って（複合要因で）起こる



# 事故は複数の原因が絡み合って（複合要因で）起こる



# 事故は複数の原因が絡み合って（複合要因で）起こる

ベッドが  
高すぎる

ブレーキが  
効かない

設備や用具など  
環境

床が滑る

車椅子のアームレストが  
上がらない

テーブルが  
低い

杖の高さが  
合っていない



# 原因分析の方法

移乗介助中の転倒事故の原因は職員のみス？

他の原因は？

利用者はなぜ  
ふらついたの  
か？

介助方法は  
適切だったのか？

車椅子は安全  
だったのか？



## 事故の原因は多角的に分析する

- ①利用者側の原因
- ②介護職側の原因
- ③環境の原因

3種類に分けて分析する



# 再発防止策の考え方

# 再発防止策は具体的に

- ・ 具体的に分かりやすい「**表現**」の種類を増やす
- ・ 具体的な約束は介護者自身の身をも守る
- ・ 再発防止策がいつも同じだから再発する
- ・ 再発防止策がいつも同じであり、漠然としたものであった場合は過失認定の可能性が高まる

# あいまいな表現は使わない

→使ってはいけない言葉を決める（類似する言葉も）

×適時・随時　・・・誰もやらない可能性

×見守る・・・近くから？遠くから？手は届く？目的は？

×気をつける、注意する・・・人はエラーを起こすもの

×～強化・・・人によって差が出る

×意識する、心掛ける・・・勤務時間中、持続しない

×徹底する・・・今までは？方法は？

×確認する・・・方法と基準を明確に



いつ

どこで

誰が

どの  
ように

何を  
するか

# 具体的で現実的な表現に言い換える

## ◆見守る（距離や目的を明確に）

→ ・手の届く位置で

・居場所を確認できるよう視野に入れる

・後方から気づかないように

・見守り強化、巡回強化（頻度、基準を明確に）

→ ・午後2時～3時の1時間はフロアに常に人がいるようにする

・夜間は2時間に1回の巡回を1時間に1回にする

・巡回時は呼吸の確認をする

◆しっかり握っているか確認する

→手を添えて、しっかり握れているか聞く

◆飲み込みの確認

→喉の動きを見て、口の中をみる

◆センサーの確認

→センサーの設置時、反応のテストを行う

◆シートベルトの確認

→指をさし、声を出して確認する

◆周知徹底（方法を明確に）

→一週間朝の申し送りで伝え、一週間S Tに掲示しておく

◆手をぶつけないように注意する（基準と方法）

→手の位置を膝においていただく

◆気を付けてドアを閉める（具体的な手順）

→「ドアを閉めます」と大きな声をだしゆっくり閉める

◆その場を離れない（現実的に）

→万一その場を離れるときは・・・

- ・利用者と行動を共にする
- ・PHSで〇〇にコールしヘルプがと到着するまでその場を離れない

◆排泄は定時の他随時に対応

→昼食前、昼食後、おやつ前に誘導

排泄が見られなければ1時間後に再度誘導

# 事故の直接原因に囚われやすい

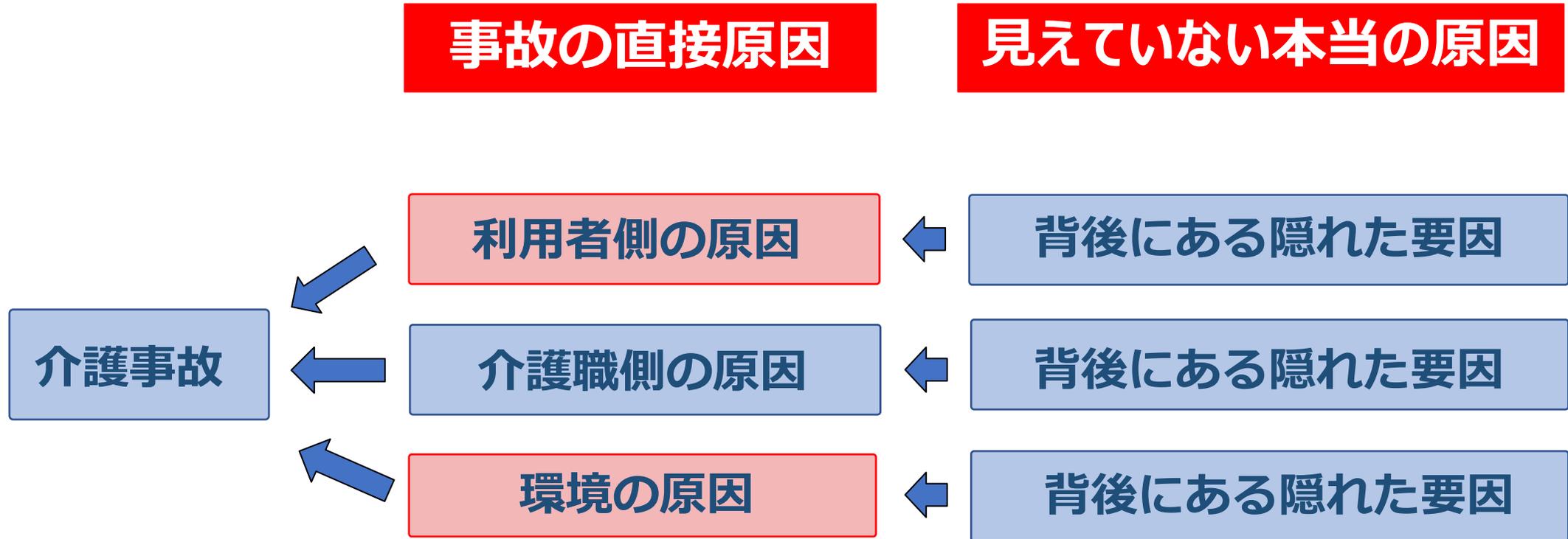
- 目を離した
- 手を放した
- 確認しなかった
- （利用者が）ふらついた
- 移乗の際に足をぶつけた

# 直接原因だけへの対応策

## 具体性のない気合い論になりやすい

- 目を離した ➡ 目を離さない
- 手を放した ➡ 手を放さない
- 確認しなかった ➡ 確認する
- (利用者が) ふらついた ➡ 見守る
- 移乗の際に足をぶつけた ➡ 気を付ける

# 効果的な原因分析の考え方

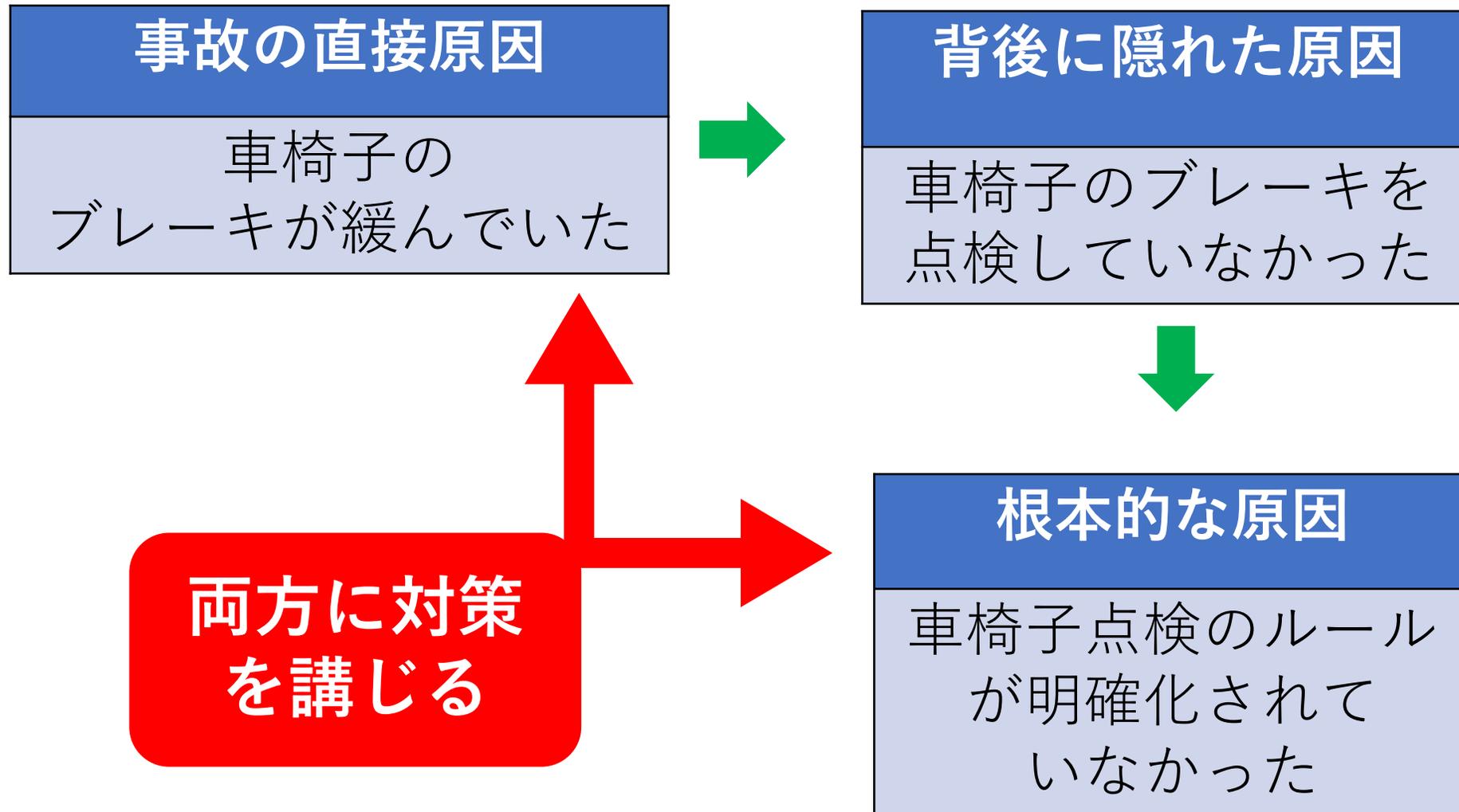


# 事例

移乗の際、車椅子が動いて転倒した。  
ブレーキの効きが悪くなっていた。

# 直接原因のかげに隠れた要因

- 直接原因のかげに隠れた誘発要因から根本原因を探す





# 再発防止策の考え方

# 効果的な再発防止策の検討方法

- ・事故防止の手法は3種類、バランスよく使い分ける

①未然防止策：事故の根本原因を除去して事故が起こらないようにする

②直前防止策：事故の根本原因は放置したままその場で危険に対処する

③損害軽減策：防ぐのが難しい事故にはケガをさせない、ケガを小さくする対策

# 事例：転倒

未然防止策	直前防止策	損害軽減策
ふらつきの原因を除去 (服薬の見直し、靴の見直し、排泄のタイミング、筋力向上等)	見守り 付き添い センサーマット	プロテクター装着 衝撃緩和マット

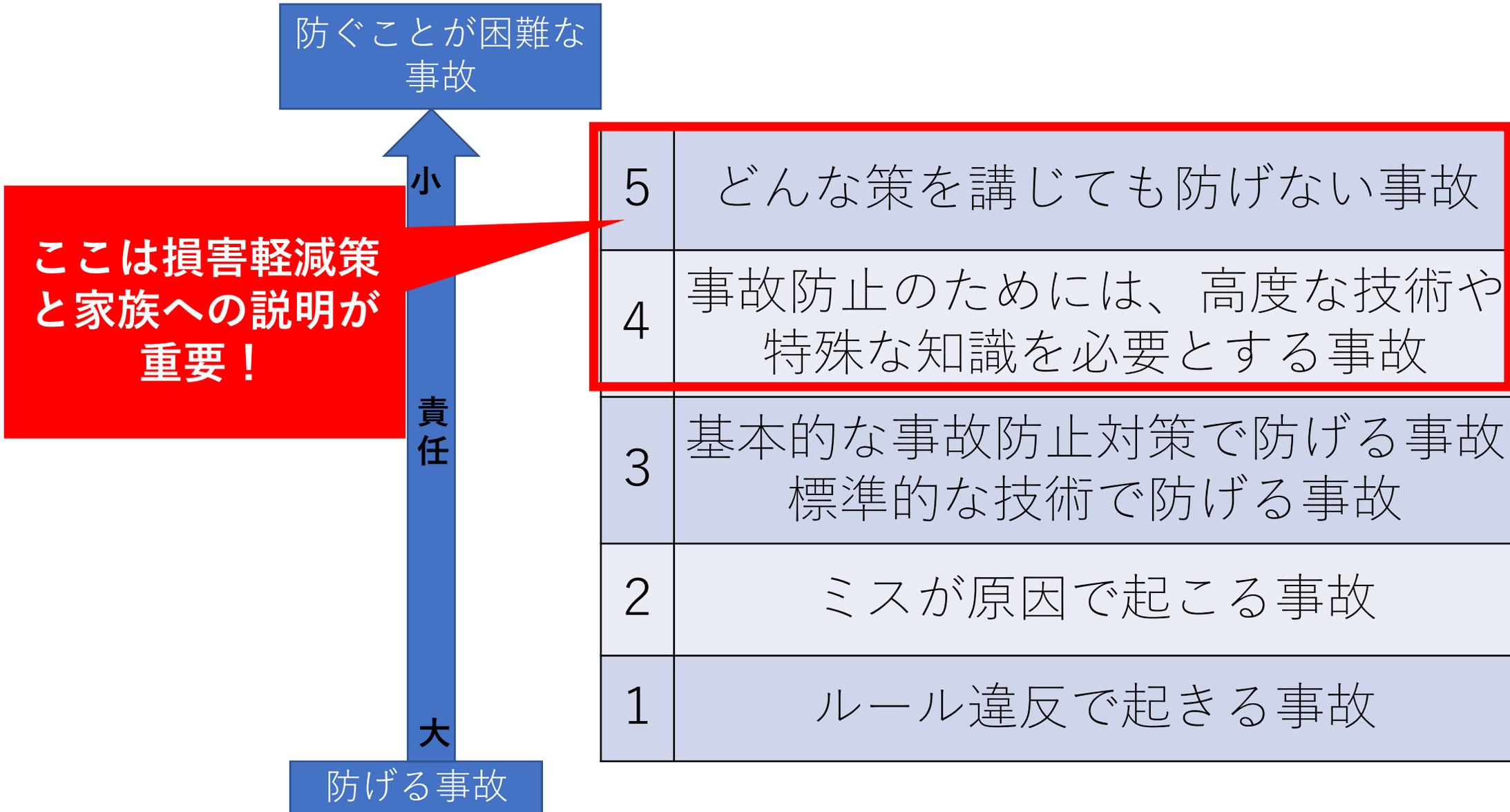
# 事例：転倒

未然防止策	直前防止策	損害軽減策
ふらつきの原因を除去 (服薬の見直し、靴の見直し、排泄のタイミング、筋力向上等)	見守り 付き添い センサーマット	プロテクター装着 衝撃緩和マット

# 事例：行方不明

未然防止策	直前防止策	損害軽減策
徘徊に駆られる原因を究明	見守り 協力体制を取る	所在確認ルール 行方不明時の捜索態勢づくり

# 事故のレベル





おつかれさまでした

育生会研修センター センター長  
(株) 安全な介護 専任講師  
川村 亜希